



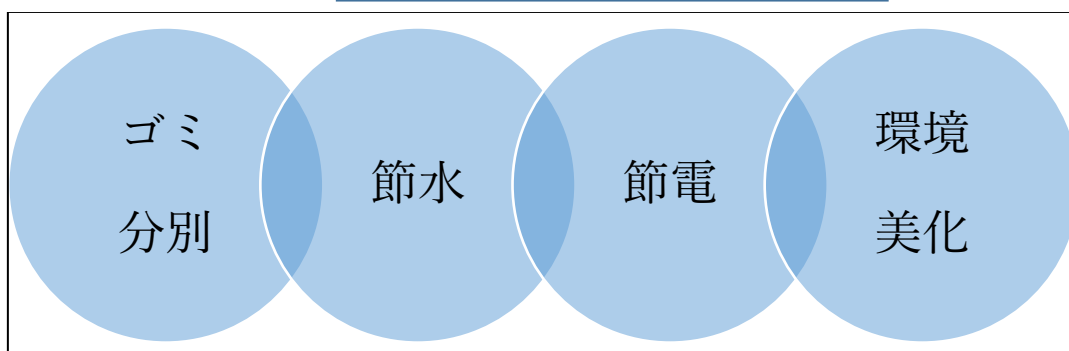
はじめに

本校は、熊本県南部の錦町にあり、三大急流のひとつ球磨川の北側に位置している。水田地帯や畑が広がっており、最近ではメロンやイチゴの栽培が盛んである。また、球磨川の堤防沿いは、熊本県が準絶滅危惧種に指定しているツクシイバラの群生地としても知られており、保護活動の一環として毎年たくさんのイベントが行われている。

豊かな自然に囲まれ、「夢を持ち、心豊かに、たくましく、自ら学ぶ木上っ子の育成」の教育目標のもと、環境のことを考える児童の育成を目指してきた。

1 宣言

学校版環境 ISO の取り組みにおける重点



学校版環境 ISO の取り組みにおける重点

児童

- ① ゴミの分別をします。
- ② 水を大切にします。
- ③ 電気を大切にします。
- ④ きれいな学校にします。

職員

- ① ゴミの分別を推進します。
- ② 紙の有効利用を推進します。
- ③ 節水に努めます。
- ④ 節電に努めます。
- ⑤ 校内の環境美化に努めます。

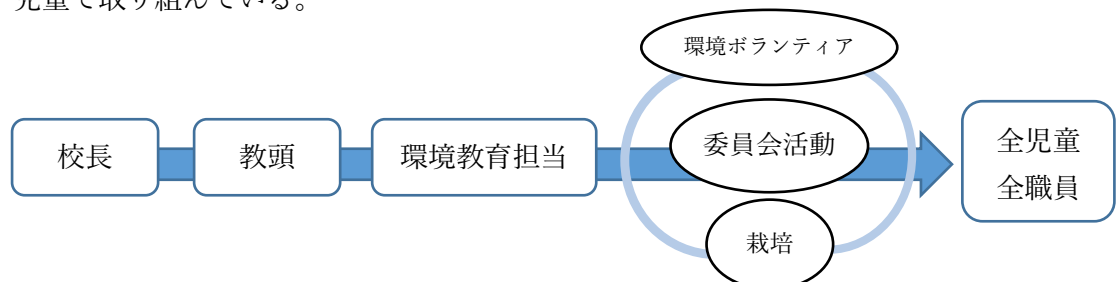
【数値目標】

- 毎月、燃えるゴミの袋は10袋以内にする。
- 電気・水道使用量、昨年度比5%減らす。

2 活動

【校内推進体制】

学校版環境 ISO 活動は、環境ボランティア委員会、栽培委員会が中心となり、全職員・児童で取り組んでいる。



具体的な取り組み

(1) ゴミの分別

燃えるゴミのゴミ箱とは別に、プラスチック専用のゴミ箱を設置し、牛乳のストローを包装しているビニールや工作で出たプラスチックゴミ等は、こちらに分別して捨てている。環境ボランティア委員会でも毎週、燃えるゴミとプラスチックゴミを分けて回収を行っている。



【プラスチック専用ゴミ箱の設置】

(2) 紙の有効活用

教室にリサイクル用紙を入れるかごを設置し、計算時の補助プリント等で利用している。また、印刷室では、裏紙の利用ができるものは大きさ別に棚へ戻し、積極的な活用を行っている。また、両面使用した紙については、まとめて資源ゴミとして出している。



【サイズ別に利用できる裏紙の棚】



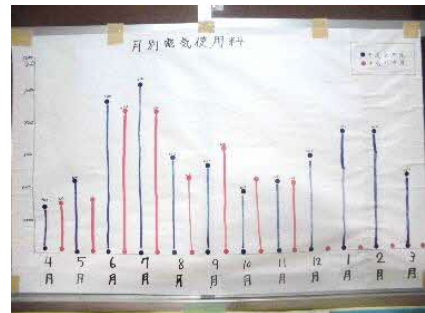
リサイクル用紙入れ
○両面印刷済みの用紙は、この箱に入れる。
○資源ゴミに出しやすいように、大きさ別に入れてある。



【リサイクル用紙を入れる箱】

(3)節電・節水

今年度から、環境ボランティア委員会が中心となって、電気と水道の使用量について、校内に掲示するようにした。前年度と比較して示すことで、一目で使用量の増減について理解できるようにした。また、節電について、教室を出るときには必ず消灯することの他に、冷暖房の使用規定等により節電に対する意識を高めるよう節電を促すマークを貼り付けて呼びかけている。また、歯磨きの時にはコップ、掃除の時はバケツを使用し、無駄な水を使わないようにし節水を心掛けている。衛生面と併せて、水が止まったことを確認できるよう、蛇口を下に向けるようマークを付けて呼びかけている。



【月別電気使用量】

(4)校内の環境美化

環境ボランティア委員会による「VS活動」では、毎週木曜日の始業前に全児童での校内美化活動が行われている。晴天時には、運動場を中心に各学年の花壇や校舎周辺の清掃を行い、雨天時には校舎内の窓ふきや棚の整理等に取り組んでいる。栽培委員会は、花の苗を植えるだけでなく、お世話の仕方も呼びかけている。

また、PTAの協力を得て、年に2回、親子美化作業に取り組み、校舎内や校舎周辺の環境美化に努めている。PTAの協力により、児童だけではできないところまで、きれいにしていただいた。



【親子美化作業の様子】

(5)ゴミの削減

昨年度から、環境ボランティア委員会が中心となって、ゴミ袋の使用量をグラフ化して示している。一ヶ月に使用するゴミ袋を10袋以内にできるように取り組んでいる。



【月ごとのゴミ袋使用量】

3 活動の結果

〈電気使用量昨年度比〉

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| +5.4% | -26.3% | -6.3% | -18.3% | -14.6% | +19.9% | +10.3% | -1.3% | +4.6% |

4月から12月までの電気の総使用量は、昨年度と比べ、5.1%減っていることが分かった。現時点では、目標の5%減を達成している。また、節電については、一昨年度からの取組もあり、教室を使用しない時には消灯する意識が高まってきている。今後も継続した取組を意識したい。

〈水道使用量昨年度比〉

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|
| ±0% | -20.0% | -5.6% | -30.0% | +2.5% | +13.9% | -22.2% | -1.3% | +2.7% |

4月から12月までの水道の総使用量は、昨年度と比べ、11.1%減っていることが分かった。現時点では、目標の5%減を達成している。また、節水マークを各水道に貼ることで、水の止め忘れや無駄な水を使わないことを意識することができるようになった。

4 成果と課題

○成果

- ・環境ボランティア委員会のゴミ回収の際に、ゴミ袋の使用量を意識したことで、ゴミ袋も無駄にできないことを理解することができた。また、校内に月ごとのゴミ袋の使用量を掲示し、全校児童に啓発することで、ゴミを意識して減らそうとする姿勢がみられた。
- ・今年度から電気・水道使用量をグラフ化し掲示することにより、一目で昨年度と比較できるようになった。12月時点では、電気、水道ともに目標の5%減を達成することができた。

○課題

- ・放送や掲示等で、全校児童・職員に啓発を行うことができたが、集会等で学校全体に周知することはできなかった。来年度は、集会等の時間を用いて委員会が中心となってより具体的に啓発できるようにしていきたい。

おわりに

今年度から、電気・水道使用量について昨年度との比較を掲示することで、子どもたちも意識しながら節電・節水に取り組むことができたのではないかと考えられる。来年度は、なぜ環境を守るために、節電・節水やリサイクルをしなければならないのか、子どもたちが主体的に考えることができるようにしていきたい。そのためにも、教員一人一人がそれらのことへの意識を高めていきたい。